

① 伐採方法が皆伐であって、伐採後の造林の計画が人工造林の場合

別記第1-1号様式

伐採及び伐採後の造林の届出書

提出日は、伐採の期間の始期の30~90日前です。

伐採を行う森林が所在する市町村の長とします

八百津町長 様

令和1年 4月 1日

住所 ○○市△△町字□□123

届出人 氏名 森林 太郎 印

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の8第1項の規定により届け出ます。

1 森林の所在場所

△△町 大字○○ 字△△ 地番1234-1番地, 1234-2番地

伐採箇所が複数地番にまたがる場合は該当する地番を全て記載してください(多数ある場合は、別紙としてリストを添付してください)。

・届出人は、森林所有者その他権原に基づき立木の使用又は収益をする者とする必要があります。  
・伐採する(権原を有する)者と伐採後の造林をする(権原を有する)者が異なる場合、連名で届出する必要があります。  
・法人の場合は法人登記印、個人の場合は認印を押印願います(ただし、個人で自署の場合は押印省略可です)

2 伐採の計画

伐採面積	0.70ha	全ての地番の合計面積を記載してください。 ※小数点以下2位まで記載(3位以下四捨五入)以下同じ
伐採方法	主伐(皆伐)・択伐)・間伐	伐採率 100%
伐採樹種	すぎ	樹種は、すぎ、ひのき、まつ、からまつ、その他の針葉樹、ぶな、その他の広葉樹の別に区分して記載してください。※以下同じ
伐採齢	50	
伐採の期間	令和1年5月1日~令和1年12月1日	伐採の期間の始期は届出日の90日~30日前である必要があります。 ・伐採の期間が複数年度にまたがる場合、伐採の計画を、年次別に記載する必要があります。

主伐の場合で伐採率(材積)が40%を超える場合、伐採方法は皆伐を選択してください。

造林面積は伐採面積と一致している必要があります。

3 伐採後の造林の計画

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

造林面積(A+B+C+D)	0.70ha
人工造林による面積(A+B)	0.70ha
植栽による面積(A)	0.70ha
人工播種による面積(B)	- ha
天然更新による面積(C+D)	- ha
ぼう芽更新による面積(C)	- ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他( )・なし
天然下種更新による面積(D)	- ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他( )・なし

人工林の皆伐の場合は、市町村森林整備計画に基づき「植栽」とするようお願いいたします。

人工播種は原則として認めないでください。

(2) 造林の方法別の造林の計画

	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の植栽本数
人工造林 (植栽・人工播種)	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	ひのき	0.40ha	1,200本
		すぎ	0.30ha	900本
天然更新 (ぼう芽更新・天然下種更新)	—			
5年後において適確な更新がなされない場合	—	—		

・造林の期間は、市町村森林整備計画に基づき、伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して2年以内に植栽を完了する必要があります。  
この例の場合、H30.3.31までの期間なら可。  
・同様に、植栽本数はヘクタールあたり1000～5000本とする必要があります。  
(例) 3,000本/ha × 0.40ha = 1,200本

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

4 備考

林小班番号を記載してください。

他に法規制のある場合は備考欄に記入してください。

林小班：旧〇〇町〇-△-□、同〇-△-□、・・・

県立自然公園普通地域、砂防指定地、・・・

適合通知書等の希望の有無 (有・無)

希望する場合は「有」としてください。

注意事項

- 1 伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 2 伐採する者が伐採後の造林に係る権原を有しない場合にあつては、伐採する者と当該権原を有する者が連名で提出すること。
- 3 氏名を自署する場合には、押印を省略することができる。
- 4 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 5 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 6 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくろまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 7 伐採方法欄には、皆伐、択伐又は間伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 8 伐採年齢欄には、伐採する森林が異年齢の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(〇～〇)」のように記載すること。
- 9 伐採の期間が1年を超える場合には、2の伐採の計画を年次別に記載すること。
- 10 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 11 植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林として定められている伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。
- 12 天然更新補助作業の有無欄には、当該作業を行う場合には、地表処理、刈出し、植込みなどの作業の種類を記載すること。
- 13 造林樹種欄及び樹種別の造林面積欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 14 樹種別の植栽本数欄には、植栽する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 15 5年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合(伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から5年後において当該用途に供されていないときを含む。)における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。
- 16 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。

## ② 伐採方法が皆伐であって、伐採後の造林の計画が天然更新の場合

別記第1-1号様式

伐採を行う森林が所在する市町村の長とします

伐採及び伐採後の造林の届出書

提出日は、伐採の期間の始期の30~90日前です。

令和1年 4月 1日

八百津町長 様

住所 ○○市△△町字□□123

出人 氏名 森林 太郎 印

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の8第1項の規定により届け出ます。

### 1 森林の所在場所

○○市 △△町 大字○○ 字△△ 地番1234-1番地, 1234-2番地

伐採箇所が複数地番にまたがる場合は該当する地番を全て記載してください(多数ある場合は、別紙としてリストを添付してください)。

・届出人は、森林所有者その他権原に基づき立木の使用又は収益をする者とする必要があります。  
 ・伐採する(権原を有する)者と伐採後の造林をする(権原を有する)者が異なる場合、連名で届出する必要があります。  
 ・法人の場合は法人登記印、個人の場合は認印を押印願います(ただし、個人で自署の場合は押印省略可です)

### 2 伐採の計画

伐採面積	0.50ha		
伐採方法	主伐(皆伐)・択伐	間伐	伐採率 100%
伐採樹種	ぶな、その他広葉樹	樹種は、すぎ、ひのき、まつ、からまつ、その他の針葉樹、ぶな、その他の広葉樹の別に区分して記載してください。※以下同じ	
伐採齢	45(40~50)		
伐採の期間	令和1年5月1日~令和1年12月1日		

全ての地番の合計面積を記載してください。※小数点以下2位まで記載(3位以下四捨五入)以下同じ

主伐の場合で伐採率(材積)が40%を超える場合、皆伐を選択してください。

### 3 伐採後の造林の計画

#### (1) 造林の方法別の造林面積等の計画

造林面積(A+B+C+D)	0.50ha
人工造林による面積(A+B)	— ha
植栽による面積(A)	— ha
人工播種による面積(B)	— ha
天然更新による面積(C+D)	0.50ha
ぼう芽更新による面積(C)	— ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他(芽かき)・なし
天然下種更新による面積(D)	0.50ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他( )・なし

・伐採の期間の始期は届出日の90日~30日前である必要があります。  
 ・伐採の期間が複数年度にまたがる場合、伐採の計画を、年次別に記載する必要があります。

造林面積は伐採面積と一致している必要があります。

・天然更新の場合は、実施する天然更新補助作業を選択してください。

天然更新すべき立木の本数に面積を乗じて得た本数を記載します。  
 (例) 3,000本/ha × 0.50ha = 1,500本  
 5年後において適確な更新が完了していない場合は、当該本数に足りない本数を植栽する必要があります。

5年後の天然更新の完了の見込みに関係なく天然更新を計画する全面積を記載してください。

(2) 造林の方法別の造林の計画

	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の植栽本数
人工造林 (植栽・人工播種)	—	—	— ha	— 本
天然更新 (ぼう芽更新・天然下種更新)	令和2年4月1日～	ぶな	0.30ha	
	令和7年3月31日	その他広葉樹	0.20ha	
5年後において適確な更新がなされない場合	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日	その他広葉樹	0.50ha	1,500本

伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して7年を超えない期間としてください。

伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して5年を超えない期間を記載してください。

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

—

4 備考

林小班：旧〇〇町〇-△-□、同〇-△-□、・・・  
 県立自然公園普通地域、砂防指定地、・・・  
 適合通知書等の希望の有無 (有・無)

林小班番号を記載してください。

他に法規制のある場合は備考欄に記入してください。

希望する場合は「有」としてください。

注意事項

- 伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 伐採する者が伐採後の造林に係る権原を有しない場合にあつては、伐採する者と当該権原を有する者が連名で提出すること。
- 氏名を自署する場合には、押印を省略することができる。
- 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくろまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 伐採方法欄には、皆伐、択伐又は間伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 伐採年齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(〇～〇)」のように記載すること。
- 伐採の期間が1年を超える場合においては、2の伐採の計画を年次別に記載すること。
- 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林として定められている伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。
- 天然更新補助作業の有無欄には、当該作業を行う場合には、地表処理、刈出し、植込みなどの作業の種類を記載すること。
- 造林樹種欄及び樹種別の造林面積欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 樹種別の植栽本数欄には、植栽する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 5年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合(伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から5年後において当該用途に供されていないときを含む。)における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。
- 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。

### ③ 伐採方法が択伐の場合

伐採を行う森林が所在する市町村の長とします

八百津町長 様

伐採及び伐採後の造林の届出書

提出日は、伐採の期間の始期の30～90日前です。

令和1年 4月 1日

住所 ○○市△△町字□□123  
届出人 氏名 森林 太郎 印

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の8第1項の規定により届け出ます。

1 森林の所在場所

△△町 大字○○ 字△△ 地番1234-1番地, 1234-2番地

伐採箇所が複数地番にまたがる場合は該当する地番を全て記載してください(多数ある場合は、別紙としてリストを添付してください)。

2 伐採の計画

伐採面積	0.50ha		
伐採方法	主伐(皆伐・択伐)・間伐	伐採率	40%
伐採樹種	ひのき		
伐採齢	50		
伐採の期間	令和1年5月1日～令和1年12月1日		

全ての地番の合計面積を記載してください。小数点以下2位まで記載(3位以下四捨五入)

樹種は、すぎ、ひのき、まつ、からまつ、その他の針葉樹、ぶな、その他の広葉樹の別に区分して記載してください。※以下同じ

・届出人は、森林所有者その他権原に基づき立木の使用又は収益をする者とする必要があります。  
・伐採する(権原を有する)者と伐採後の造林をする(権原を有する)者が異なる場合、連名で届出する必要があります。  
・法人の場合は法人登記印、個人の場合は認印を押印願います(ただし、個人で自署の場合は押印省略可です)

主伐の場合で伐採率(材積)が40%を超える場合、皆伐を選択してください。

3 伐採後の造林の計画

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

造林面積 (A+B+C+D)	0.50ha
人工造林による面積 (A+B)	0.50ha
植栽による面積 (A)	0.50ha
人工播種による面積 (B)	— ha
天然更新による面積 (C+D)	— ha
ぼう芽更新による面積 (C)	— ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他 ( )・なし
天然下種更新による面積 (D)	— ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他 ( )・なし

・伐採の期間の始期は届出日の90日～30日前である必要があります。  
・伐採の期間が複数年度にまたがる場合、伐採の計画を、年次別に記載する必要があります。

造林面積は伐採面積と一致している必要があります。

(2) 造林の方法別の造林の計画

	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の植栽本数
人工造林 (植栽・人工播種)	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	ひのき	0.50ha	600本
天然更新 (ぼう芽更新・天然下種更新)	—	—	・造林の期間は、市町村森林整備計画に基づき、伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して2年以内に植栽を完了する必要があります。 ・同様に、植栽本数はヘクタールあたり1000～5000本とする必要があります。 (例) 3,000本/ha × 0.50ha × 40% = 600本	
5年後において適確な更新がなされない場合	—	—		

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

—

4 備考

林小班番号を記載してください。

他に法規制のある場合は備考欄に記入してください。

林小班：旧〇〇町〇-△-□、同〇-△-□、・・・

県立自然公園普通地域、砂防指定地、・・・

適合通知書等の希望の有無 (有・無)

希望する場合は「有」としてください。

注意事項

- 伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 伐採する者が伐採後の造林に係る権原を有しない場合にあつては、伐採する者と当該権原を有する者が連名で提出すること。
- 氏名を自署する場合には、押印を省略することができる。
- 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくるまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 伐採方法欄には、皆伐、択伐又は間伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 伐採年齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(○～○)」のように記載すること。
- 伐採の期間が1年を超える場合においては、2の伐採の計画を年次別に記載すること。
- 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林として定められている伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。
- 天然更新補助作業の有無欄には、当該作業を行う場合には、地表処理、刈出し、植込みなどの作業の種類を記載すること。
- 造林樹種欄及び樹種別の造林面積欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 樹種別の植栽本数欄には、植栽する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 5年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合(伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から5年後において当該用途に供されていないときを含む。)における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。
- 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。

# ④ 伐採方法が間伐の場合

## 伐採及び伐採後の造林の届出書

提出日は、伐採の期間の始期の30～90日前です。

伐採を行う森林が所在する市町村の長とします

八百津町長 様

令和1年 4月 1日

住所 ○○市△△町字□□123

届出人 氏名 森林 太郎 印

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の8第1項の規定により届け出ます。

伐採箇所が複数地番にまたがる場合は該当する地番を全て記載してください（多数ある場合は、別紙としてリストを添付してください）。

・届出人は、森林所有者その他権原に基づき立木の使用又は収益をする者とする必要があります。  
・法人の場合は法人登記印、個人の場合は認印を押印願います（ただし、個人で自署の場合は押印省略可です）

### 1 森林の所在場所

△△町 大字○○ 字△△ 地番1234-1番地, 1234-2番地

### 2 伐採の計画

全ての地番の合計面積を記載してください。  
※小数点以下2位まで記載（3位以下四捨五入）  
以下同じ

伐採面積	0.50ha
伐採方法	主伐（皆伐・択伐）・ <b>間伐</b> 伐採率 30%
伐採樹種	ひのき 樹種は、すぎ、ひのき、まつ、からまつ、その他の針葉樹、ぶな、その他の広葉樹の別に区分して記載してください。※以下同じ
伐採齢	50
伐採の期間	令和1年5月1日～令和1年12月1日

・伐採の期間の始期は届出日の90日～30日前である必要があります。  
・伐採の期間が複数年度にまたがる場合、伐採の計画を、年次別に記載する必要があります。

### 3 伐採後の造林の計画

#### (1) 造林の方法別の造林面積等の計画

造林面積 (A+B+C+D)	— ha
人工造林による面積 (A+B)	— ha
植栽による面積 (A)	— ha
人工播種による面積 (B)	— ha
天然更新による面積 (C+D)	— ha
ぼう芽更新による面積 (C)	— ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他 ( )・なし
天然下種更新による面積 (D)	— ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他 ( )・なし

間伐の場合は記載不要です。

(2) 造林の方法別の造林の計画

	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の植栽本数
人工造林 (植栽・人工播種)	—	—	— ha	— 本
天然更新 (ぼう芽更新・天然下種更新)	—	—	—	—
5年後において適確な更新がなされない場合	—	—	—	—

間伐の場合は記載不要です。

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

—

4 備考

林小班番号を記載してください。

他に法規制のある場合は備考欄に記入してください。

林小班：旧〇〇町〇-△-□、同〇-△-□、・・・  
 県立自然公園普通地域、砂防指定地、・・・  
 適合通知書等の希望の有無（有・無）

希望する場合は「有」としてください。

注意事項

- 伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 伐採する者が伐採後の造林に係る権原を有しない場合にあつては、伐採する者と当該権原を有する者が連名で提出すること。
- 氏名を自署する場合には、押印を省略することができる。
- 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 伐採方法欄には、皆伐、択伐又は間伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 伐採年齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(〇～〇)」のように記載すること。
- 伐採の期間が1年を超える場合においては、2の伐採の計画を年次別に記載すること。
- 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林として定められている伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。
- 天然更新補助作業の有無欄には、当該作業を行う場合には、地表処理、刈出し、植込みなどの作業の種類を記載すること。
- 造林樹種欄及び樹種別の造林面積欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 樹種別の植栽本数欄には、植栽する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 5年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から5年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。
- 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。



# ⑤ 電気事業者等が行う線下伐採等の場合

伐採を行う森林が所在する市町村の長とします

八百津町長 様

伐採及び伐採後の造林の届出書

令和1年 4月 1日

提出日は、伐採の期間の始期の30～90日前です。

住所 ○○市○○町1-2-3  
届出人 氏名 ○○電力株式会社  
○○事業所長 ○○○○ 印

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の8第1項の規定により届け出ます。

### 1 森林の所在場所

△△町 大字○○ 字△△ 地番1234-1番地, 1234-2番地

伐採箇所が複数地番にまたがる場合は該当する地番を全て記載してください(多数ある場合は、別紙としてリストを添付してください)。

・法人の場合は法人登記印を押印願います。

### 2 伐採の計画

伐採面積	0.50ha	全ての地番の合計面積を記載してください。 ※小数点以下2位まで記載(3位以下四捨五入)以下同じ	
伐採方法	(主伐) (皆伐) 択伐・間伐	伐採率	100%
伐採樹種	すぎ	樹種は、すぎ、ひのき、まつ、からまつ、その他の針葉樹、ぶな、その他の広葉樹の別に区分して記載してください。※以下同じ	
伐採齢	50		
伐採の期間	令和1年5月1日～令和1年12月1日		

・伐採の期間の始期は届出日の90日～30日前である必要があります。  
・伐採の期間が複数年度にまたがる場合、伐採の計画を、年次別に記載する必要があります。

造林面積は伐採面積と一致している必要があります。

### 3 伐採後の造林の計画

#### (1) 造林の方法別の造林面積等の計画

造林面積 (A+B+C+D)	0.50ha
人工造林による面積 (A+B)	— ha
植栽による面積 (A)	— ha
人工播種による面積 (B)	— ha
天然更新による面積 (C+D)	0.50ha
ぼう芽更新による面積 (C)	— ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他 ( )・なし
天然下種更新による面積 (D)	0.50ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他 ( )・なし

・天然更新の場合は、実施する天然更新補助作業を選択してください。

天然更新すべき立木の本数に面積を乗じて得た本数を記載します。  
 (例) 3,000本/ha × 0.50ha = 1,500本  
 5年後において適確な更新が完了していない場合は、当該本数に足りない本数を植栽する必要があります。

5年後の天然更新の完了の見込みに関係なく天然更新を計画する全面積を記載してください。

(2) 造林の方法別の造林の計画

	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の植栽本数
人工造林 (植栽・人工播種)	—	—	— ha	— 本
天然更新 (ぼう芽更新・天然下種更新)				
5年後において適確な更新がなされない場合	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	その他広葉樹	0.50ha	1,500本

伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して7年を超えない期間としてください。

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

—

4 備考

線下伐採  
 林小班：旧○○町○-△-□、同○-△-□、・・・  
 県立自然公園普通地域、~~防火~~防火指定地、・・・  
 確認通知書等の希望の有無 (有・無)

「線下伐採」等を明記してください。

林小班番号を記載してください。

他に法規制のある場合は備考欄に記入してください。

希望する場合は「有」としてください。

注意事項

- 伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 伐採する者が伐採後の造林に係る権原を有しない場合にあつては、伐採する者と当該権原を有する者が連名で提出すること。
- 氏名を自ら記入すること。
- 森林の用途は、3の(2)造林の方法別の造林の計画について、線下伐採の場合は、記入は不要。
- 面積は、線下伐採の場合は、記入は不要。
- 樹種は、「5年後・・・」については、記入が必要。  
、からまつ、えぞまつ、こ区分して記載すること。欄には、立木材積による
- 伐採方法  
 伐採率を記載すること。
- 伐採年齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(○～○)」のように記載すること。
- 伐採の期間が1年を超える場合においては、2の伐採の計画を年次別に記載すること。
- 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林として定められている伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。
- 天然更新補助作業の有無欄には、当該作業を行う場合には、地表処理、刈出し、植込みなどの作業の種類を記載すること。
- 造林樹種欄及び樹種別の造林面積欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 樹種別の植栽本数欄には、植栽する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 5年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合(伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から5年後において当該用途に供されていないときを含む。)における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。
- 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合のもののみ記載すること。

⑥ 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合

伐採を行う森林が所在する市町村の長とします

八百津町長 様

伐採及び伐採後の造林の届出書

令和1年 4月 1日

提出日は、伐採の期間の始期の30~90日前です。

住所 ○○市△△町字□□123  
届出人 氏名 森林 太郎 印

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の8第1項の規定により届け出ます。

1 森林の所在場所

○○市 △△町 大字○○ 字△△ 地番1234-1番地, 1234-2番地

伐採箇所が複数地番にまたがる場合は該当する地番を全て記載してください(多数ある場合は、別紙として別紙にリストを添付してください)。

・届出人は、森林所有者その他権原に基づき立木の使用又は収益をする者とする必要があります。  
・法人の場合は法人登記印、個人の場合は認印を押印願います(ただし、個人で自署の場合は押印省略可です)

2 伐採の計画

伐採面積	0.50ha	全ての地番の合計面積を記載してください。 ※小数点以下2位まで記載(3位以下四捨五入)以下同じ	
伐採方法	主伐(皆伐)・択伐・間伐	伐採率	100%
伐採樹種	すぎ		
伐採齢	50		
伐採の期間	令和1年5月1日~令和1年12月1日		

・伐採の期間の始期は届出日の90日~30日前である必要があります。  
・伐採の期間が複数年度にまたがる場合、伐採の計画を、年次別に記載する必要があります。

3 伐採後の造林の計画

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

造林面積 (A+B+C+D)	—	ha
人工造林による面積 (A+B)	—	ha
植栽による面積 (A)	—	ha
人工播種による面積 (B)	—	ha
天然更新による面積 (C+D)	—	ha
ぼう芽更新による面積 (C)	—	ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他 ( )・なし	
天然下種更新による面積 (D)	—	ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他 ( )・なし	

記載不要です。

天然更新すべき立木の本数に面積を乗じて得た本数を記載します。  
 (例) 3,000本/ha × 0.50ha = 1,500本  
 5年後において適確な更新が完了していない場合は、当該本数に足りない本数を植栽する必要があります。

5年後の天然更新の完了の見込みに関係なく天然更新を計画する全面積を記載してください。

(2) 造林の方法別の造林の計画

	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の植栽本数
人工造林 (植栽・人工播種)	—	—	— ha	— 本
天然更新 (ぼう芽更新・天然下種更新)	—	—	— ha	— 本
5年後において適確な更新がなされない場合	令和8年4月1日～ 令和10年3月31日	その他広葉樹	0.50ha	1,500本

伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して7年を超えない期間としてください。

人工造林、天然更新は記載不要です。5年後において適確な更新がなされない場合欄のみ記載願います。

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

宅地造成

4 備考

林小班番号を記載してください。

他に法規制のある場合は備考欄に記入してください。

林小班：旧〇〇町〇-△-□、同〇-△-□、・・・  
 県立自然公園普通地域、砂防指定地、・・・  
 確認通知書等の希望の有無 (有・無)

希望する場合は「有」としてください。

注意事項

- 伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 伐採する者が伐採後の造林に係る権原を有しない場合にあつては、伐採する者と当該権原を有する者が連名で提出すること。
- 氏名を自署する場合には、押印を省略することができる。
- 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくろまつをいう)、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 伐採方法欄には、皆伐、択伐又は間伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 伐採年齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(〇～〇)」のように記載すること。
- 伐採の期間が1年を超える場合においては、2の伐採の計画を年次別に記載すること。
- 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林として定められている伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。
- 天然更新補助作業の有無欄には、当該作業を行う場合には、地表処理、刈出し、植込みなどの作業の種類を記載すること。
- 造林樹種欄及び樹種別の造林面積欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 樹種別の植栽本数欄には、植栽する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 5年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合(伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から5年後において当該用途に供されていないときを含む。)における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。
- 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合のみに記載すること。

## ⑥-2 太陽光パネルの設置に伴う場合

### 伐採及び伐採後の造林の届出書

伐採を行う森林が所在する市町村の長とします

八百津町長 様

令和1年 4月 1日

住所           〇〇市△△町字□□123  
届出人 氏名 株式会社 〇〇  
代表取締役 〇〇 〇〇 印

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の8第1項の規定により届出ます。

#### 1 森林の所在場所

△△町 大字〇〇 字△△ 地番1234-1番地, 1234-2番地

伐採箇所が複数地番にまたがる場合は該当する地番を全て記載してください(多数ある場合は、別紙として別紙にリストを添付してください)。

・届出人は、森林所有者その他権原に基づき立木の使用又は収益をする者とする必要があります。  
・法人の場合は法人登記印、個人の場合は認印を押印願います(ただし、個人で自署の場合は押印省略可です)

#### 2 伐採の計画

伐採面積	0.60ha		
伐採方法	主伐 (皆伐) 択伐	間伐	伐採率 100%
伐採樹種	すぎ		
伐採齢	50		
伐採の期間	令和1年5月1日～令和1年12月1日		

全ての地番の合計面積を記載してください。  
※小数点以下2位まで記載(3位以下四捨五入)以下同じ

・伐採の期間の始期は届出日の90日～30日前である必要があります。  
・伐採の期間が複数年度にまたがる場合、伐採の計画を、年次別に記載する必要があります。

#### 3 伐採後の造林の計画

##### (1) 造林の方法別の造林面積等の計画

造林面積 (A+B+C+D)	0.20 ha
人工造林による面積 (A+B)	0.20 ha
植栽による面積 (A)	0.20 ha
人工播種による面積 (B)	— ha
天然更新による面積 (C+D)	— ha
ぼう芽更新による面積 (C)	— ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他 ( )・なし
天然下種更新による面積 (D)	— ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他 ( )・なし

森林として維持管理する伐採地の面積を記入してください。

(2) 造林の方法別の造林の計画

	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の植栽本数
人工造林 (植栽・人工播種)	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	すぎ	0.20ha	600本
天然更新 (ぼう芽更新・天然下種更新)	—	—		
5年後において適確な更新 がなされない場合	—	—		

・造林の期間は、市町村森林整備計画に基づき、伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して2年以内に植栽を完了する必要があります。  
 ・同様に、植栽本数はヘクタールあたり1000～5000本とする必要があります。  
 (例) 3,000本/ha × 0.50ha × 40% = 600本

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

開発行為に係る森林となる区域の伐採面積 0.4ha ・太陽光パネルを設置する 森林として管理する伐採地の面積 0.2ha ・植栽による人工造林により、〇〇市森林整備計画に適合する管理を実施する	開発行為に係る森林の伐採面積と用途を記載してください。 また、森林として管理する伐採地の面積と市町村森林整備計画に適合する管理を実施する旨の記載をしてください。
---	---

4 備考

林小班：旧〇〇町〇-△-□、同〇-△-□、・・・ 適合通知書等の希望の有無（有・無）	林小班番号を記載してください。
---	-----------------

注意事項

- 1 伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 2 伐採する者が伐採後の造林に係る権原を有しない場合にあつては、伐採する者と当該権原を有する者が連名で提出すること。
- 3 氏名を自署する場合には、押印を省略することができる。
- 4 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 5 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 6 樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 7 伐採方法欄には、皆伐、択伐又は間伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 8 伐採年齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(○～○)」のように記載すること。
- 9 伐採の期間が1年を超える場合においては、2の伐採の計画を年次別に記載すること。
- 10 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 11 植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林として定められている伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。
- 12 天然更新補助作業の有無欄には、当該作業を行う場合には、地表処理、刈出し、植込みなどの作業の種類を記載すること。
- 13 造林樹種欄及び樹種別の造林面積欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 14 樹種別の植栽本数欄には、植栽する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 15 5年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から5年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。
- 16 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。

(参考) 連名、複数年の場合の記載例

伐採及び伐採後の造林の届出書

令和1年 4月 1日

八百津町長 様

住所 ○○市△△町字□□123

届出人 氏名 ○○林業

代表取締役 林野次郎 印

伐採する者(立木を買い受けて伐採する者等)

伐採者と造林者が異なる場合は、連名としてください。

住所 ○○市○○町1-2-3

届出人 氏名 森林 太郎

印

伐採後の造林をする者(森林所有者)

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の8第1項の規定により届け出ます。

1 森林の所在場所

○○市 △△町 大字○○ 字△△ 地番1234-1番地, 1234-2番地

2 伐採の計画

年度ごとに伐採面積を記載してください。

伐採面積	1.50ha (うち平成27年度0.70ha, 平成28年度0.80ha)		
伐採方法	(主伐) (皆伐)・択伐	伐採率	100%
伐採樹種	ひのき、すぎ		
伐採齢	50		
伐採の期間	令和1年5月1日～令和1年12月1日		

3 伐採後の造林の計画

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

造林面積 (A+B+C+D)	1.50ha
人工造林による面積 (A+B)	1.50ha
植栽による面積 (A)	1.50ha
人工播種による面積 (B)	— ha
天然更新による面積 (C+D)	— ha
ぼう芽更新による面積 (C)	— ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他 ( 芽かき )・なし
天然下種更新による面積 (D)	— ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他 ( )・なし

(2) 造林の方法別の造林の計画

	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の植栽本数
人工造林 (植栽・人工播種)	令和2年4月1日～ 令和5年3月31日	ひのき	0.70ha	2,100本
		すぎ	0.80ha	2,400本
天然更新 (ぼう芽更新・天然下種更新)	—	—	—	—
5年後において適確な更新がなされない場合	—	初年度伐採の翌年度の4月1日から、伐採が修了した年度の翌年度の4月1日から起算して2年以内に植栽が完了する計画となっていること。		

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

—
---

4 備考

林小班：旧〇〇町〇-△-□、同〇-△-□、・・・ 県立自然公園普通地域、砂防指定地、・・・ 適合通知書等の希望の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有・無）
---

注意事項

- 伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 伐採する者が伐採後の造林に係る権原を有しない場合にあつては、伐採する者と当該権原を有する者が連名で提出すること。
- 氏名を自署する場合には、押印を省略することができる。
- 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 伐採方法欄には、皆伐、択伐又は間伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 伐採年齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(〇～〇)」のように記載すること。
- 伐採の期間が1年を超える場合においては、2の伐採の計画を年次別に記載すること。
- 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林として定められている伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。
- 天然更新補助作業の有無欄には、当該作業を行う場合には、地表処理、刈出し、植込みなどの作業の種類を記載すること。
- 造林樹種欄及び樹種別の造林面積欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 樹種別の植栽本数欄には、植栽する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 5年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から5年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。
- 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。